

平成29年度 技能審査の成果の単位認定についてのガイドライン

- (1) 単位の認定
技能審査の成果の単位認定は、高等学校長が行う。
高等学校在学中に技能審査に合格した場合は、対応する科目の履修をさらに深めたものとみなし、当該科目の増加単位として認定する。
- (2) 認定の時期と方法
卒業時に一括して認定する。認定は、各「分野」ごとに最も単位数の多い成果の単位のみを認定する。
「分野」内の成果が複数あっても単位の加算はしない。なお、実際の認定は最新のガイドラインによる。
- (3) 認定する単位数の限度
認定できる単位数は、学校設定教科・学校設定科目による単位認定と合わせて20単位までとする。
この単位は、卒業学年において、卒業に必要な単位とすることができる。
- (4) 技能審査の成果の単位認定に係るガイドライン

分野	技能審査名	実施団体等	級・種別	認定単位数		対応する教科・科目		
						教科	科目	
国語	日本漢字能力検定	(財)日本漢字能力検定協会	準2級以上	2		国語	国語総合	
			3級	1				
英語	実用英語技能検定	(財)日本英語検定協会	2級	3		外国語	コミュニケーション英語 I	
			準2級	2				
			3級	1				
	英語検定	(財)全国商業高等学校協会	1級	3		商業	課題研究	
2級			2					
3級			1					
ビジネス	商業経済検定	(財)全国商業高等学校協会	1級	3		商業	ビジネス基礎	
			2級	2				
			3級	1				
	販売士検定	日本商工会議所	3級	3		商業	課題研究	
	秘書検定	(財)実務技能検定協会	2級	3				
3級			2					
簿記	簿記実務検定試験	(財)全国商業高等学校協会	会計1級	2	3(*)	商業	簿記	
			原価計算1級	2				
			2級	2				
			3級	1				
	簿記検定試験	日本商工会議所	2級	3				
			3級	2				
			会計1級	2	3(*)			
	原価計算1級	2						
	2級	2						
簿記能力検定試験	(社)全国経理教育協会	2級	2					
		3級	1					
		* 全商および全経の簿記検定1級は、どちらか1部門のみ合格で2単位を認定するが、両部門合格のときは3単位を認定する。						
情報処理	情報処理検定	(財)全国商業高等学校協会	(ビジネス情報部門)	1級	2		商業	情報処理
			(プログラミング部門)	2級	1			
			1級	2				
			2級	1				
	IT活用能力検定試験	(社)全国経理教育協会	1級	2				
情報処理技術者試験	独立行政法人 情報処理推進機構	ITパスポート	3					
商業技術	電卓技能検定	日本電卓検定協会	1級	2		商業	ビジネス基礎 ・ 課題研究	
			2級	1				
	珠算・電卓実務検定	(財)全国商業高等学校協会	珠算1級	2	3(*)			
			電卓1級	2				
	珠算能力検定	日本商工会議所	2級	1				
1級			2					
2級	1							
* 全商珠算・電卓実務検定1級は、算盤・電卓のどちらか一方の計算用具による合格で2単位を認定するが、両方の計算用具でそれぞれ1級合格のときは3単位を認定する。								
文書処理	ビジネス文書実務検定	(財)全国商業高等学校協会	1級	2		商業	情報処理	
			2級	1				